

2021年度 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年2月10日

事業所名：発達支援feel大久保

区分		現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	<p>利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保</p> <p>1階は主に小集団活動、2階は個別療育活動に分けることで学習と余暇活動、手先、SST、運動、ビジョントレーニング等の活動がメリハリを持って取り組めるようにしています。小集団活動がしんどくなった場合は自分から入れる、クールダウンの場所を用意しています。運動する時には机や棚を移動させて広くしてから活動しています。1,2階の机や棚の配置を定期的に変え、目的に応じて活動しやすい空間にしたり、畳や床をマットに変えることで部屋の統一感が出るよう工夫したりしています。</p>	<p>はい95.5% どちらともいえない4.5% いいえ0% わからない0%</p> <p>沢山のお友達が居ると少し狭い気がします。</p>	<p>・一戸建ての賃貸のためスペースに限界はありますが、1人の居場所が必要なお子さまには自分で飾りつけた段ボールハウスを用意するなどして効率よく空間を使えるよう工夫しています。</p> <p>・運動などのプログラムを実施する時は机をよけて広いスペースを確保してから安全に配慮して実施しています。</p>
	2	<p>職員の適切な配置</p> <p>一日の定員は10名までになっています。職員は、常時5名以上配置されており、全員が有資格者です（保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等）。カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者が対応するようにしています。</p>	<p>はい100%</p>	<p>・スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関に掲示しています。学期ごとに1回内部研修を行っています。今後もスタッフの専門性（カウンセリング、制作、身辺自立等）を活かしながら療育内容を考えていきたいと思っています。</p>
	3	<p>本人に分かりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備</p> <p>玄関等の段差については借家のため改修が難しいですが、お子さまへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カードや文字等の視覚支援やICT（パソコン・IPAD）の活用、スケジュール化等を行っています。手先の課題では、課題後に片付けがしやすいように、棚に整理された状態の写真の掲示をしておき、プログラム活動時には、切りかえや見通しが持てるように事前予告の声かけやタイマーを使用しています。スケジュール表はお子さまによって作り変え、例えば名前もひらがな、カタカナ、ローマ字等のお子さまにとって分かりやすく、楽しくお子さまの特性に応じて療育できるようにしています。</p>	<p>はい95.5% どちらともいえない0% いいえ0% わからない4.5%</p> <p>0回答</p>	<p>継続していきながら、お子さまの特性に応じて、教材や環境を整備していきたいと思っています。</p>
	4	<p>清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保</p> <p>熱中症や脱水にならないように、一年を通してお子さまに定期的な水分補給を促しています。また、感染症予防のために一年を通して30分に一度の換気をしたり、毎日アルコール消毒をしたりしています。おやつ前は手洗い、アルコール消毒、手袋を着ける等徹底し、距離をとって食べるようにしています。1・2階には空気清浄機、加湿器を置き、マスクの着用の徹底、使用した場所・物をその都度消毒を行い、風邪予防やウィルス感染の除去につなげています。</p>	<p>はい87.8% どちらともいえない7.3% いいえ0% わからない4.9%</p> <p>色々工夫されていて本人も居心地が良さそー(原文のまま)である。</p>	<p>・お子さまたちが清潔で心地よく過ごせるように、継続して掃除や環境を整えていきたいと思っています。来所時やおやつ前には、手の洗浄の後、アルコールで手指を消毒してもらっています。</p> <p>・机や電子機器など毎日手が触れるところへのアルコール消毒を毎日行っています。</p>

業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。また、個別を担当しているスタッフと小集団スタッフとでお子さまの目標設定の振り返りを行うことで業務改善を進めています。		管理者がいない日でも、情報共有・振り返りを行っています。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換をしながら良かった点や改善点等の業務改善を図っています。		継続していきたいと思っています。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員は、常時5名以上配置されており、全員が有資格者です（保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等）。内部研修では、K式検査、虐待予防、不登校の対応、継次処理と同時処理、特性の伝え方、算数のつまづき、保育所等訪問、カウンセリング、保育現場から療育で行かせること等を行っています。外部研修では、ICT活用事例虐待防止、ベアレントトレーニング、コロナ渦における子どもの生活ソーシャルスキルトレーニング等を受けており、日々研鑽しています。		スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関に掲示しています。学期ごとに1回内部研修を行っています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育では、検査や行動観察、保護者の方からの聞き取りから、アセスメントを行い、お子さまにとって必要な療育の計画を考えています。小集団活動では、SST・制作・ビジョントレーニング・運動のプログラムについて2名以上のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものと設定後の反省点等をミーティングの中でも協議しています。WISC知能検査、K-ABC II やSM社会生活能力検査、個別や小集団での行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	はい100% 兄妹と通っていますが、全く異なる性格で色々対応が大変なのですが、個々の特性、性格に合わせて考えて対応してくれていると感じます。	継続していきたいと思っています。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別でお友だちとの関わり方の練習やお仕事課題を先に支援員としてから、集団活動の中でも実践していくなど、個別と集団が連動するような療育も行っています。		継続していきたいと思っています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6カ月でお子さまが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。	はい100%	支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、お子さま・保護者の方と相談しながら療育のプログラムに入れるようにしています。	はい100%	日常のお仕事・運動・SST・制作活動は今後も引き続き、毎週違うプログラムを実施していきます。

5	チーム全体での活動プログラムの立案	SST・制作（ビジョントレーニング）・運動のプログラムについて2名以上のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものをミーティングの中でも協議し、それぞれの活動を連動させています。例えば制作プログラムで輪ゴム銃を制作し、運動プログラムに取り入れる等行っています。また、前年度には取り組んでいないボンドシールやシール制作、入浴剤作りなど新しい活動を取り入れています。		継続していきたいと思っています。
6	平日・休日・長期休暇に応じた、きめ細やかな支援	平日は学校終了後のため、宿題や余暇など本人の気持ちや体調等に応じて活動する順番を考慮しています。長期休暇時にはお買い物学習等、社会体験の一環として、普段できない活動を取り入れ、楽しく生活習慣が身に着くようにしています。休日のことも考えて宿題の提供内容や枚数を決めています。		継続していきたいと思っています。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	他事業所間で管理職会議やメール等で情報共有を行い、お子さまが楽しんだ活動をプログラムに追加しています。個別療育では、お子さまの理解度に合わせたり、興味のある活動を取り入れたり、お子さんと保護者の方からのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。また、計画したプログラムでもその日のお子さまの様子に合わせて柔軟にアレンジし、参加しやすくしています。	はい100%	継続していきたいと思っています。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	週初めに各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフでロールプレイや話し合いをして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。個別療育で使う席の配置や小集団活動でのプログラムの役割分担についてシートを活用して決めています。また、毎日のミーティングの中でその日の職員の動き、一人一人のお子さまへの声かけの仕方や遊びの提供方法を話し合っています。		継続していきたいと思っています。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	小集団活動での取り組みについてのチェックリストや次に出勤するスタッフに情報が共有できるようにメモ等で引継ぎを行っています。		継続していきたいと思っています。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを書いています。ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し合い、よかった支援はスタッフで共有して継続しています。また、家庭や学校、フリースクールとのお話の中で、より細かなお子さんの状況を教えていただくことで、より多角的な面から検証し、必要に応じて支援の改善を行っています。		継続していきたいと思っています。

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しをし、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続していきたいと思っています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。		継続していきたいと思っています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子さまはご利用されていませんが、保護者の方のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。		継続していきたいと思っています。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子さまはご利用されていませんが、お子さんが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関（あだちこども診療所：加古川）と情報提供・共有をさせていただいています。		継続していきたいと思っています。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援や、小・中学校との間で、必要に応じて支援方針や方法、対応について情報共有させていただいたり、小中学校への訪問活動を通じてより細かな移行支援につながるよう働きかけています。		継続していきたいと思っています。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者の方に同意を得たうえで、本人のこれまでの様子や療育の内容について情報共有を行っています。		継続していきたいと思っています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会、LDセンター、LITALICO等の専門機関や内閣府や兵庫県主催の研修を受けています。		継続していきたいと思っています。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は交流する機会がありませんでした。	はい13.6% どちらともいえない31.8% いいえ0% わからない54.5% ・この件は個人的には私はもとめていない。なくても良いと思う。	今後活動できる機会がありましたら検討したいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	自治会や清掃活動等に参加し、地域の方と交流することで、どのような事業所かを知ってもらい、ご相談しやすくしています。		継続していきたいと思っています。

保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい90.9% どちらともいえない4.5% いいえ0% わからない4.5%	変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ることを継続していきたいと思っています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい100%	継続していきたいと思っています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けに学期ごとに1回、計3回のペアレントトレーニングやその他の研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、学校などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。今年度は1学期に算数のつまづき、保育所等訪問、2学期に障害告知、特性の伝え方について、3学期に継次処理同時処理、K式研修解釈について行いました。	はい100%	継続していきたいと思っています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育での状況や課題はファイルに記入したり、取り組まれた課題を一度ご家庭に持ち帰って頂いたりしております。また、小集団での様子は口頭でお伝えしています。お子さまの対応や学校との連携については、随時お時間をとらせていただきご相談させていただいています。	はい95.5% どちらともいえない4.5% いいえ0% わからない0%	継続していきたいと思っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、ご相談に応じたり、お子さまの気になることや嬉しかったことがあった場合にはこちらからも保護者の方に声をかけて成功の追及をしています。ご希望の方には継続したカウンセリングも行っています。	はい100%	継続していきたいと思っています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	学期に1回は保護者交流会や勉強会を開催し、平日だけでなく土曜日にも開催することで出席していただきやすくなるようにしたり、早めにご案内を配布したりしています。研修後に、保護者交流会を続けて行い、普段のお子さまとの関わりで気になることや上手くいった対応等についてお話させていただいています。	はい95.5% わからない4.5%	コロナ渦において2021年度の研修はZOOMなどでのオンライン研修やオンライン交流会をさせていただいております。また事態が落ち着きましたらご来所での研修や交流会を考えております。

	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。 普段から気になったことを相談しやすいような関係づくりを行っています。	はい81.8% わからない18.2%	継続していきたいと思っています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやメール、LINE等、後で見ても分かる形にしています。また特性に応じて大事な話を先にしたり、何回かに分けてお伝えしたりしています。	はい95.5% わからない4.5%	今後も引き続き、支援計画を遵守するだけではなく、個々に応じて必要な方には、随時必要な療育プログラムを実施させていただきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要を毎週土曜に玄関掲示とLINE配信、ブログにもアップしています。行事やアンケートがあるときにはお便りを配布したりLINE等で配信しています。	はい95.5% どちらともいえない4.5%	今後も継続して、玄関に活動の内容を掲示したり、ブログに活動の様子を掲載させていただきます。また、アクセスしていただきやすいよう、LINEのタイムラインにも活動の様子を掲載させていただきます。個人のスケジュール表にも詳細を記入していきたいと思っています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時の個人情報についてのアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守するよう説明しています。	はい90.9% わからない9.1%	スタッフには雇用契約の際に個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っております。またご利用の方の個人情報は鍵がかかる場所に保管し、閉所後は施錠しています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。感染症についてはマニュアルにもとづいて対応を考えています。	はい95.5% わからない4.5%	継続していきたいと思っています。 保護者にお渡しするスケジュールに避難訓練が行われたことを記入お知らせします。
	2	非常災害の発生に備えた、避難、救出その他必要な訓練を定期的実施	地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応や避難訓練を実施し、水やお菓子の備蓄をしています。緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。	はい86.4% わからない13.6%	学期ごとに1回以上避難訓練を実施しています。避難先でスムーズに保護者の方へ引き渡しができる様、保護者の方の電話番号、住所の書かれた紙を非常食とともに非常カバンの中に入れてあります。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中でのお子さまへの対応について話し合ったりしています。		継続していきたいと思っています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場合は保護者の方へ書面を添えて十分な説明を行い、了承を得た場合、ご署名をいただいております。半年に一度、職員間で話し合いをし、見直しを行っています。合わせて保護者の方へ報告させていただいております。		継続していきたいと思っています。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの指示書の対応が必要な場合は記載していただき、支援員がすぐに確認できるようにお子さまのお名前と食べられない食品名をキッチンやおやつ棚に明記しております。		継続していきたいと思っています。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ご利用されるお子さまが安全に過ごせるように、環境面、玩具の使用、関わり方についてその都度ミーティング等で対応を協議し、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。また、大久保・小久保・小久保IIにも個人情報を伏せて情報共有を行い、再発防止に努めています。		継続していきたいと思っています。